

県民の思いと社会の要請に応える県行政の実現 “お役所仕事” を超えて

～ 行政改革・財政改革に取り組むに当たってのメッセージ～

県行政は、県民の皆様のため、そして未来を見据えて地域をより良い方向に発展させていくために存在し、県行政の仕事は、県民の皆様の暮らしを支え、長野県をより良い地域にするための素晴らしい仕事です。

こうした当たり前のことを改めて県職員全員が再確認し、県民の期待や社会の要請に的確に応える県行政を確立していくこと、その実現こそが、県民の声や思いが真に反映される「県民主権」の県政の具体化です。

そして、日頃の仕事を通じてそうした期待や要請を最もよく分かっている職員一人ひとりが、問題意識を持って解決していくことが本当の意味での改革であり、同時にそれがこれまで以上に誇りややりがいを持って仕事に取り組むことにつながります。

こうした姿を実現する意味で、私は、長野県から「お役所仕事」という言葉をなくしていく決意です。

そのためには、職員一人ひとりが前例主義や守りの姿勢に陥ることなく新しい課題、難しい課題に積極果敢にチャレンジし、常に県民目線、現場起点でこれまでの制度や仕組みの改善に努め、県民の皆様とともに考え、ともに行動することが必要です。

今回の改革方針は、これまでの行政改革・財政改革を超えて、取組を具体的、強力に進めるための新たな方針にしたいと考え、その骨子案をとりまとめました。今後、県民をはじめ市町村、団体など多くの皆様から幅広く御意見や御提言をいただきながら、更に具体的な内容について検討を進めてまいります。

これを実効あるものにするため、策定の段階から職員の参画によって作り上げていきたいというのが私の思いです。

これまでの取組を超え、「県民の期待に応えることのできる県政、職員一人ひとりのやりがいにつながる行政」の実現に向け、「本気の改革」に取り組んでまいりますので、県民の皆様の御理解、そして、熱い思いを持った職員の参加と協力をお願いします。